

令和5年度 学校総括評価表

徳島市北井上中学校

自己評価				次年度への課題と今後の改善方策										
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価											
規範意識や思いやりの心を持ち、自ら考え行動できる生徒を育成する。	1 相手の気持ちを考えた言動ができるようにする。 2 自ら考え、行動できるようにする。 3 あいさつの習慣を定着させる。	<table border="1"> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価指標の達成度</th> </tr> <tr> <td>1 相手の気持ちを考えた言葉遣いができていると考えている生徒が80%以上いる。(アンケート調査)</td> <td>1 できていると考える生徒が92%であり、目標を達成できた。</td> </tr> <tr> <td>2 自分の気持ちを素直に表現したり、自分で考え行動することができたと考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査)</td> <td>2 できたと考える生徒が69%であり、あと一步のところまで目標達成には至らなかった。</td> </tr> <tr> <td>3 あいさつをきちんとできたと考える生徒が、80%以上いる。(アンケート調査)</td> <td>3 できたと考える生徒が94%であり、目標を達成できた。</td> </tr> </table>	評価指標	評価指標の達成度	1 相手の気持ちを考えた言葉遣いができていると考えている生徒が80%以上いる。(アンケート調査)	1 できていると考える生徒が92%であり、目標を達成できた。	2 自分の気持ちを素直に表現したり、自分で考え行動することができたと考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査)	2 できたと考える生徒が69%であり、あと一步のところまで目標達成には至らなかった。	3 あいさつをきちんとできたと考える生徒が、80%以上いる。(アンケート調査)	3 できたと考える生徒が94%であり、目標を達成できた。	<table border="1"> <tr> <th>総合評定 (評定)</th> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table>	総合評定 (評定)	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、道徳・人権についての研修を進め、すべての生徒が自分らしく安心して生活できる学級・学校づくりを進める。 学校全体で取り組むポジティブ行動支援の内容・方法を工夫し、生徒のよさや頑張りを引き出す。 学校行事や体験的な活動において、できるかぎり生徒が活動の計画や準備・運営などに関わるようにさせる。ふるさと学習については、より一層の充実を図る。 GACV運動を充実させるとともに、ボランティア活動で地域との連携を進める。
		評価指標	評価指標の達成度											
1 相手の気持ちを考えた言葉遣いができていると考えている生徒が80%以上いる。(アンケート調査)	1 できていると考える生徒が92%であり、目標を達成できた。													
2 自分の気持ちを素直に表現したり、自分で考え行動することができたと考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査)	2 できたと考える生徒が69%であり、あと一步のところまで目標達成には至らなかった。													
3 あいさつをきちんとできたと考える生徒が、80%以上いる。(アンケート調査)	3 できたと考える生徒が94%であり、目標を達成できた。													
総合評定 (評定)														
B														
<table border="1"> <tr> <th>活動計画</th> <th>活動計画の実施状況</th> </tr> <tr> <td>1 生徒一人一人の人権感覚を高める取り組みを実施する。</td> <td>1 道徳・人権については、各学年テーマを設け、外部講師を招聘しつつ取組の充実を図った。昨年度に引き続き、学校全体でポジティブ行動支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>2 集団の中で、生徒自身が自ら考え行動する機会を行事や体験的な活動等を通してつくる。</td> <td>2 職場体験、保育実習を数年ぶりに実施できた。また、「ふるさと学習」として外部講師を招聘し、現地でふるさとの良さを学ぶことができた。</td> </tr> <tr> <td>3 GACV運動(あいさつ・清掃活動ボランティア)を実施する。</td> <td>3 GACV運動は生徒会役員を中心に定着し、過ごしやすい学校環境づくりに大きく貢献している。</td> </tr> </table>	活動計画	活動計画の実施状況	1 生徒一人一人の人権感覚を高める取り組みを実施する。	1 道徳・人権については、各学年テーマを設け、外部講師を招聘しつつ取組の充実を図った。昨年度に引き続き、学校全体でポジティブ行動支援を行った。	2 集団の中で、生徒自身が自ら考え行動する機会を行事や体験的な活動等を通してつくる。	2 職場体験、保育実習を数年ぶりに実施できた。また、「ふるさと学習」として外部講師を招聘し、現地でふるさとの良さを学ぶことができた。	3 GACV運動(あいさつ・清掃活動ボランティア)を実施する。	3 GACV運動は生徒会役員を中心に定着し、過ごしやすい学校環境づくりに大きく貢献している。	<p>(所見)</p> <p>「相手の気持ちを考えた言葉遣い」については、昨年度より3ポイント向上している。「自分の気持ちを表現、自分で考え行動」については、昨年度より10ポイントアップできたが、僅かに目標値に及ばなかった。あいさつについては、昨年度同様の数値を達成できた。GACV運動が定着し、気持ちのよいあいさつが広がっている。</p>					
活動計画	活動計画の実施状況													
1 生徒一人一人の人権感覚を高める取り組みを実施する。	1 道徳・人権については、各学年テーマを設け、外部講師を招聘しつつ取組の充実を図った。昨年度に引き続き、学校全体でポジティブ行動支援を行った。													
2 集団の中で、生徒自身が自ら考え行動する機会を行事や体験的な活動等を通してつくる。	2 職場体験、保育実習を数年ぶりに実施できた。また、「ふるさと学習」として外部講師を招聘し、現地でふるさとの良さを学ぶことができた。													
3 GACV運動(あいさつ・清掃活動ボランティア)を実施する。	3 GACV運動は生徒会役員を中心に定着し、過ごしやすい学校環境づくりに大きく貢献している。													
生徒一人一人に応じた確かな学力を育成する。	1 基礎的な知識や技能を習得するとともに、それを活用して課題を解決するために必要な思考力等を育成する。 2 自ら学ぶ力を身につけさせる。	<table border="1"> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価指標の達成度</th> </tr> <tr> <td>1 朝の読書にまじめに取り組んでいると考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査)</td> <td>1 取り組めたと考える生徒が72%であり、目標を達成できた。</td> </tr> <tr> <td>2 授業中に自分の考えを積極的に発表できたと考えている生徒が45%以上いる。(アンケート調査)</td> <td>2 発表できたと考える生徒が40%であり、目標を達成できなかった。</td> </tr> <tr> <td>3 1日平均1,2年生は2時間、3年生は3時間の家庭学習ができていると考えている生徒が過半数いる。(アンケート調査)</td> <td>3 1年生33%, 2年生31%, 3年生71%であった。3年生は達成できたが、1・2年生は目標を達成できなかった。</td> </tr> </table>	評価指標	評価指標の達成度	1 朝の読書にまじめに取り組んでいると考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査)	1 取り組めたと考える生徒が72%であり、目標を達成できた。	2 授業中に自分の考えを積極的に発表できたと考えている生徒が45%以上いる。(アンケート調査)	2 発表できたと考える生徒が40%であり、目標を達成できなかった。	3 1日平均1,2年生は2時間、3年生は3時間の家庭学習ができていると考えている生徒が過半数いる。(アンケート調査)	3 1年生33%, 2年生31%, 3年生71%であった。3年生は達成できたが、1・2年生は目標を達成できなかった。	<table border="1"> <tr> <th>総合評定 (評定)</th> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </table>	総合評定 (評定)	B	<ul style="list-style-type: none"> 朝の学習から読書への切り替えをきちんと行い、読書の時間を確保する。 鳴門教育大学や教育委員会の指導を受け、小中の連携を深めながら、主体的に学ぶ生徒の育成、ICTの効果的な活用についての研究を進める。 すべての教科で言語活動を充実させるための取組を考え、実践する。 教科間で調整しながら、計画的で適切な家庭学習課題を設定する。その際、タブレットを積極的に活用する。
		評価指標	評価指標の達成度											
1 朝の読書にまじめに取り組んでいると考えている生徒が70%以上いる。(アンケート調査)	1 取り組めたと考える生徒が72%であり、目標を達成できた。													
2 授業中に自分の考えを積極的に発表できたと考えている生徒が45%以上いる。(アンケート調査)	2 発表できたと考える生徒が40%であり、目標を達成できなかった。													
3 1日平均1,2年生は2時間、3年生は3時間の家庭学習ができていると考えている生徒が過半数いる。(アンケート調査)	3 1年生33%, 2年生31%, 3年生71%であった。3年生は達成できたが、1・2年生は目標を達成できなかった。													
総合評定 (評定)														
B														
<table border="1"> <tr> <th>活動計画</th> <th>活動計画の実施状況</th> </tr> <tr> <td>1 朝の読書や図書カード記入により読書習慣の定着を図り、表現力等の基礎を養う。</td> <td>1 あわっこタイムズを読み、感想をまとめる時間を設けるとともに、図書委員を中心に本の紹介等、図書室利用を増やすための取組を行った。</td> </tr> <tr> <td>2 授業中に自ら考え発表する機会をつくることにより、思考力・判断力・表現力を養う。</td> <td>2 ICTを活用し、生徒が意見を交流できる場面を取り入れた授業を展開する等、思考力・表現力の育成に取り組んだ。</td> </tr> <tr> <td>3 自主学習の仕方についてアドバイスをし、効果的な家庭学習の習慣を身につけさせる。</td> <td>3 「学習の手引き」を配布し、各教科で学習の進め方などを指導した。また、毎週水曜日をノー部活デーとしている。</td> </tr> </table>	活動計画	活動計画の実施状況	1 朝の読書や図書カード記入により読書習慣の定着を図り、表現力等の基礎を養う。	1 あわっこタイムズを読み、感想をまとめる時間を設けるとともに、図書委員を中心に本の紹介等、図書室利用を増やすための取組を行った。	2 授業中に自ら考え発表する機会をつくることにより、思考力・判断力・表現力を養う。	2 ICTを活用し、生徒が意見を交流できる場面を取り入れた授業を展開する等、思考力・表現力の育成に取り組んだ。	3 自主学習の仕方についてアドバイスをし、効果的な家庭学習の習慣を身につけさせる。	3 「学習の手引き」を配布し、各教科で学習の進め方などを指導した。また、毎週水曜日をノー部活デーとしている。	<p>(所見)</p> <p>「授業中に積極的に発表」については、昨年度より3ポイント向上したが、目標には届かなかった。表現力育成とともに、生徒の主体的な学びを促す授業改善に努めたい。家庭学習については、生徒の75%、保護者の69%は、家庭学習がきちんとできているととらえており、昨年度より向上したが、学習時間について1,2年生で目標に届かなかった。今後は時間の確保とともに、学習の質を高めることを指導したい。</p>					
活動計画	活動計画の実施状況													
1 朝の読書や図書カード記入により読書習慣の定着を図り、表現力等の基礎を養う。	1 あわっこタイムズを読み、感想をまとめる時間を設けるとともに、図書委員を中心に本の紹介等、図書室利用を増やすための取組を行った。													
2 授業中に自ら考え発表する機会をつくることにより、思考力・判断力・表現力を養う。	2 ICTを活用し、生徒が意見を交流できる場面を取り入れた授業を展開する等、思考力・表現力の育成に取り組んだ。													
3 自主学習の仕方についてアドバイスをし、効果的な家庭学習の習慣を身につけさせる。	3 「学習の手引き」を配布し、各教科で学習の進め方などを指導した。また、毎週水曜日をノー部活デーとしている。													

自 己 評 価				次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	
健康や安全に留意し、基本的な生活習慣を身につけた生徒を育成する。	1 健康や安全の大切さを理解させる。 2 時間を守ることの大切さを理解させる。	評価指標 1 健康や安全に関する行事は役に立っていると考えている生徒をできるだけ100%に近づける。(アンケート調査) 2 学校や家庭で時間を守ることができたと考える生徒が75%以上いる。(アンケート調査)	評価指標の達成度 1 役立っていると考える生徒は84%であり、昨年度より9ポイント下がった。 2 守ることができたと考える生徒は74%であり、目標には僅かに届かなかった。	総合評定 (評定) C (所見) 食育委員が「食育クイズ大会」を企画・運営するなど、生徒が主体的に活動することで学びを深めることができた。また、防災については、事前指導にも力を入れたこともあり、北井上地区の市民総合防災訓練に多くの生徒が参加できた。今後、生徒たちを地域防災の担い手として育てていくための指導を続けていきたい。
		活動計画 1 健康や安全に関する活動や行事を実施する。 2 学校生活の中で時間を守ることの意義について、機会を捉えて指導する。	活動計画の実施状況 1 食育パワーアップ作戦、通学路安全点検、防災訓練、交通安全教室、救急救命法講習会等の活動を実施することができた。 2 予鈴での移動等、教職員共通理解のもと指導を行った。	
開かれた学校づくりをめざす。	1 保護者や地域に対して、積極的に情報発信をする。	評価指標 1 学校は家庭連絡をきちんとしていると考えている保護者が80%以上いる。(アンケート調査) 2 学年だよりやホームページ等を通じて学校の様子がよくわかると思っている保護者が80%以上いる。(アンケート調査)	評価指標の達成度 1 家庭連絡ができていると考える保護者が85%であり、目標を達成できた。 2 学校の様子がよくわかると思っている保護者が78%であり、僅かに目標を達成できなかった。	総合評定 (評定) B (所見) 生徒の様子を教職員で共有するとともに、家庭との連絡を密にすることで、保護者の理解・協力を得ることができた。一方で「学校の様子がよくわかる」が昨年度より10ポイント下がっており、今後は、ホームページの更新回数を増やし、最新情報を発信し、回復に努めたいと考えている。
		活動計画 1 日頃の連絡や三者面談、オープンスクール等を通じて、できるだけ子どもたちの学校での様子がわかるよう取り組む。 2 学年だよりやホームページ等を通じて、教育活動の様子について積極的に知らせる。	活動計画の実施状況 1 日頃の連絡はもちろんのこと三者面談・オープンスクールを実施した。ケーブルテレビにも協力いただき、可能な行事は放映してもらった。 2 教育活動の様子について、適宜ホームページで情報発信した。また、学年だより・保健だより・給食だより等を月一回発行した。	

「評定」の基準 A:十分達成できた。 B:おおむね達成できた C:達成できなかった

< 学校関係者評価 >

<p>・全ての重点課題において、B評定はよくできていると感じています。100%とかA評定は達成できないのが本当です。逆に生徒たちは正直で前向きに答えていると思います。大きな問題もなく、中学校教職員一同が根気強くご指導いただいていることに感謝しています。子どもたちが一つ一つ達成できる目標設定やヤル気の出るご指導をお願いします。</p> <p>・学校行事の運動会やオープンスクールを見せていただいて、子どもたちは真面目に素直に明るく学校生活が送れているなという印象を受けました。学校評価アンケートでも学校へ来るのが楽しいという評価が80%近くある事でもわかります。しかし、反対に楽しくないという子も少しいるのが気になります。この子たちのことをよろしくお願いします。</p> <p>・重点目標は概ね達成できていると思います。常に感じることでありますが挨拶はほとんどの子どもたちが気持ちよくできていて感心します。GACV運動が先輩から後輩へと受け継がれているのでしょうか。</p> <p>・総合評定は、B、Cで厳しいものでしたが、先生方が子どもたちのことを考え、日々努力されていることに感謝します。今後とも子どもたちが明るく楽しくよく学ぶ学校生活を送れるようよろしくお願ひします。親、子のアンケート結果は、いつの時代も差があると思います。</p> <p>・少し残念だったことは、文化祭等の教育活動の様子が著作権関連もあって、CATV放映ができなかったことです。地域の人たちも楽しみにしているので、教育現場における使用緩和を検討できないものでしょうか。また「開かれた学校づくり」をめざす一環として、小学校高学年の観覧も実施できないか考えてみてください。中学校生活への不安払拭や期待を高める効果が期待できると思います。</p> <p>・HP更新については、コロナ禍も明けたので、毎日更新とまではしなくてもいいと思います。しかし一方で、部活予定は保護者からすると早めに周知してほしいでしょうし、また、テスト範囲の公開もされると助かると感じるご家庭は多いと思います。「進路関係」も最新の情報が届くようになっていただきたいです。</p> <p>・4つの項目で3つBを達成できている事は評価できます。地域の特性を活かして評定を上げていってほしいです。Cは1つですが、もう少しで達成できると思います。</p>
--